

行動目標

健康づくりについての意識調査等からみえてきたこと

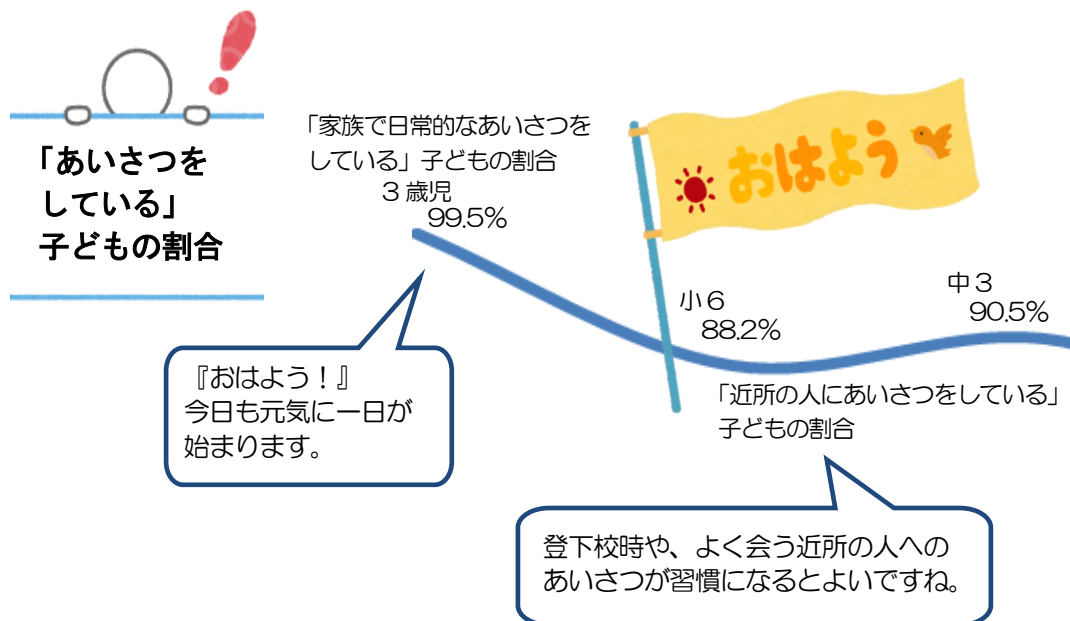
コミュニケーション

子どもⅠ期

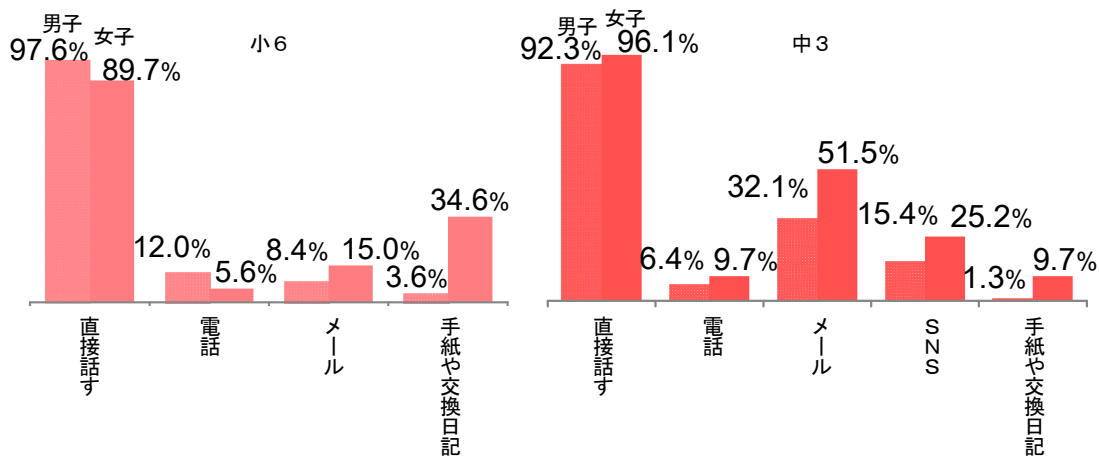
「おはよう」
そこから始まる地域の輪

子どもⅡ期

向こう三軒両隣 あいさつかわして
顔みしり



「自分の気持ちを伝える方法」について



青年期・壮年期・高年期

向こう三軒両隣 あいさつかわして 顔みしり



「地域の人と
付き合いをして
いる」人の割合

地域の人とのつきあいがまた増える年代です。
定年退職後の「地域デビュー」という言葉もありますね。
趣味の仲間との付き合いや、自治・町内会の活動、
ボランティア等…あなたはどこから始めますか？

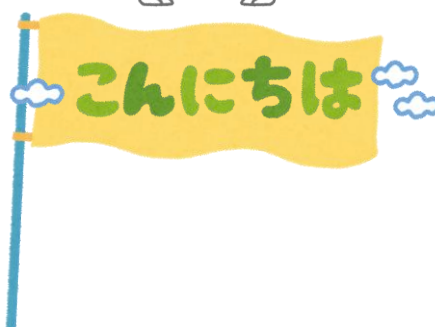


高年期
90.0%

壮年期
87.2%

青年期
82.6%

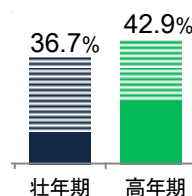
生活スタイル等の違いで、
「挨拶をする程度の付き合い」も
ない人がいるようです。



「子ども会や町内会の行事などに参加している」
「まあ参加している」子どもの割合



「自治・町内会、サークル、ボランティア等に
定期的に参加している」「時々参加している」人の割合



子どもⅠ期

「おはよう」 そこから始まる地域の輪

【現状と課題】

- ・3歳児で、「家庭で日常的なあいさつをいつもする」「まあする」子どもは、99.5%（平成17年度 「いつも」「時々」 99.4%）。
- ・小6で、「近所の人にあいさつをする」「まあする」子どもは、88.2%（平成17年度 「自分からあいさつする」 64.7%）。
- ・小6で、「自分の思ったことを人に伝えられる」子どもは、37.9%（平成17年度 29.2%）。
- ・小6で、「自分専用の携帯電話・スマートフォンを持っている」子どもは、55.0%。

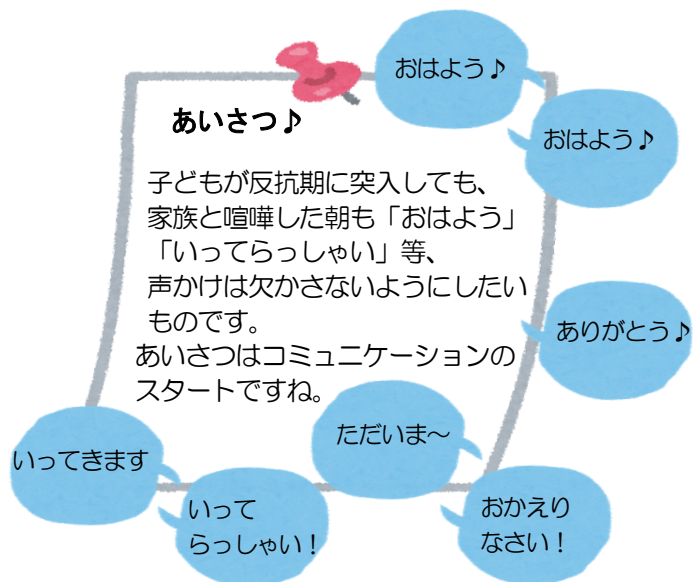
【一人ひとりができること】

- ・家族で、近所で、学校で
まずは「おはよう」「さようなら」
「いただきます」「ごちそうさま」そして
「ありがとう」。



【みんなでできること】

- ・自分から、あいさつをする。
- ・ニコッと笑顔で子どもにあいさつを返す（大人がお手本を示す）。
- ・してはいけないことをはっきり伝える。
- ・子どもの話に耳を傾けて「聴く」。
- ・子どもが体験したことに共感する。



例えば…朝活といえば、小学生から、年配の方までが一緒に行っている「ラジオ体操」。その場に行けば、自然と「おはよう♪」と声が出ますね。

子どもⅡ期

向こう三軒両隣 あいさつかわして 顔みしり

【現状と課題】

- ・中3で、「近所の人にあいさつをする」「まあする」子どもは、90.5%（平成17年度 「自分からあいさつをする」72.1%）。
- ・中3で、「自分の思ったことを人に伝えられる」子どもは、41.0%（平成17年度 27.8%）。
- ・中3で、「自分専用の携帯電話・スマホを持っている」子どもは、81.0%

【一人ひとりができること】

- ・家族で、学校で、近所で、
まずは「おはよう」「さようなら」
「いただきます」「ごちそうさま」そして
「ありがとう」。
- ・見守り活動をしてきている人、登下校で
会う人にあいさつをする。



【みんなでできること】

- ・自分から、あいさつするよう、
心がける。
- ・子どもの話に耳を傾けて、聴く。
- ・子どもが体験したことに共感する。
- ・危ないこと、してはいけないことは、
はっきり伝える。



いろいろな体験を生きる力に…

人は家庭や学校以外のところで、いろいろなことを体験し、そして、人との出会いや関わりを通して、協調性や相手を思いやる気持ちを育てていきます。同時に、社会のルールやマナーも学びます。

子ども会、自治・町内会、子ども会館の催し、地区社協の世代間交流などなど…いろいろな催しがありますね。

地域活動の世話役は、時間も労力も必要ですが、大人にとっても、いい成長の機会です。子どもを地域の目で見守ってもらうためにも、まずは親から、そして親子一緒に、地域と関わりをもっていきましょう。



青年期・壮年期・高年期

向こう三軒両隣 あいさつかわして 顔みしり

【現状と課題】

- ・「ふだん、地域の人との付き合い」は、「挨拶程度」が最も多く、青年期 67.3% 壮年期 64.8% 高年期 56.8%。
- ・「付き合いをしていない」人は、青年期 16.8% 壮年期 18.5% 高年期 7.3%
（平成 17 年度 「コミュニケーションがとれていない」青年期 62.3% 壮年期 48.4%）。
- ・「参加している目的」（複数回答）は、壮年期：1 位 地域貢献、2 位 趣味、3 位 その他
高年期：1 位 地域貢献、2 位 趣味、3 位 健康・体力づくり。

【一人ひとりができること】

- ・近所で、職場で、
自分から「おはよう」「さようなら」
「いただきます」「ごちそうさま」
そして「ありがとう」。
- ・回覧板は直接、手渡す。
- ・自治・町内会の班長をやってみる。
- ・地域のイベントやお祭り、サークル、サロン
等に参加してみる。
- ・なじみのカフェ、お店を見つける。

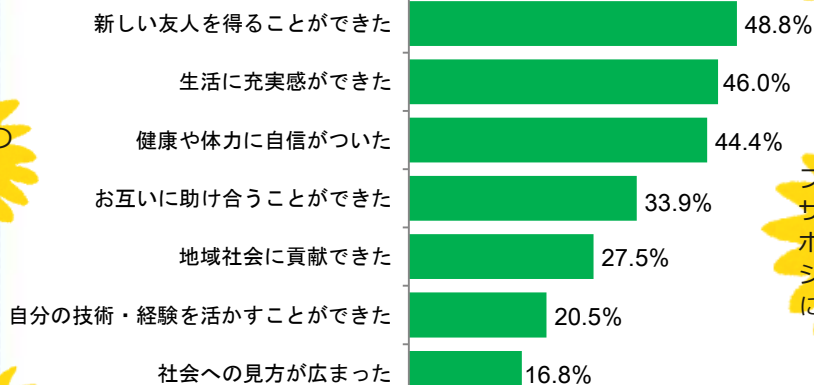


【みんなでできること】

- ・近所で知っている人、
顔見知りを増やす。
- ・挨拶には、笑顔で返す。
- ・目と目をあわせて、耳を傾けて「聴く」
余裕を持つ。
- ・相手を思いやり、気遣う。
- ・隣りの家の電球交換等、ちょっとした
“助っ人”になってみる。



地域活動に参加して良かったこと



※内閣府「高齢者の地域参加に関する意識調査」
（平成 25 年）

趣味の
集まりに
参加

子どもたちの
見守り活動

地域の
清掃活動

地域の
防犯
パトロール

犬の散歩を
兼ねて
わんわん
パトロール

ファミリー
サポートセンターや
ボランティア、
シルバー人材センター
に登録してみる

